

第3回 大阪880万人訓練
(平成26年9月5日(金)実施)
報告書

平成26年12月

大阪880万人訓練 実行委員会事務局

訓練概要

①実施日時

平成 26 年 9 月 5 日（金）

○午前 11 時：地震発生（屋外スピーカーや館内放送などでお知らせ）

○午前 11 時 03 分頃：大津波警報発表（訓練用のエリアメール／緊急速報メールなどでお知らせ）

②訓練の目的

府民のみなさんが、様々な情報源から地震・津波発生情報を認識し、地震・津波発生時に行動できるようにすること。

③訓練の想定及び方針

○想定：南海トラフ巨大地震

○方針：訓練の着実な実施

市町村によるエリアメール／緊急速報メールを活用した訓練情報の発信の拡充

④訓練情報発信ツール

○エリアメール／緊急速報メール（対応機種のみ）：携帯電話会社の防災情報サービス

○おおさか防災情報メール（登録者のみ）：大阪府の防災情報サービス

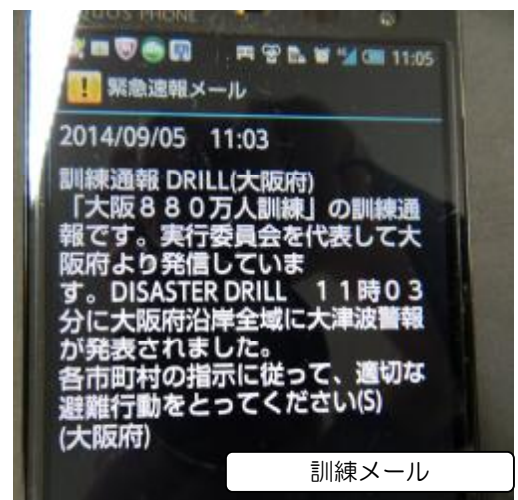
○Yahoo! 防災速報（登録者のみ）：Yahoo! JAPAN の防災情報サービス

訓練結果概要

11 時に地震発生、11 時 03 分に大津波警報発表という過去 2 回とは異なる想定で、11 時 03 分頃にエリアメール／緊急速報メールを発信し、より実態に即した形での訓練を実施した。

また、前回から実施した、市町村による訓練情報メールの第 2 弾発信は、今回 33 市町村が行うこととなり、訓練情報の発信を拡充した（前回は 18 市町村）。

エリアメール／緊急速報メールの着信率は、おおさか Q ネットのアンケート結果では、推定対応率（71.2%）を若干下回ったものの 68.0%となっており、大阪のような大都市では、携帯電話等が緊急時の災害情報の伝達手段として有効であることが改めて確認できた。



また、市町村、学校、民間企業等による連動訓練等についても大幅に増加した。

一方で、「大阪府（おおさかQネット）・大阪市（大阪市政モニター）合同アンケート」の結果によると、訓練事前浸透率（訓練開始時より前にこの訓練を知っていた者の割合）が昨年度より若干低下（74.0%→68.0%）したほか、訓練情報受信後、訓練に参加しなかった人が昨年度より若干増加（54.2%→59.8%）するなど（本訓練の目的の一つである）実際の「逃げる」行動に、いかにつなげていくかが引き続き課題となっている。

広報状況

過去2回と同様、府及び市町村における活用可能なツールを最大限に活用したほか、様々な企業等とのタイアップ等により広報活動を行った。

具体的には、府政だより（6・7及び9月号）や全市町村広報誌への掲載を行ったほか、府・市町村HPや大阪府 facebook への掲載、知事定例記者会見（2回）など様々なツールを活用してPRを行った。

また、民間企業等とのタイアップとしては、新たに三井住友海上火災保険(株)及び(株)ジェイコムウエスの2社にご協力をいただき、タイアップポスター・リーフレットを作成したことに加え、昨年引き続き、東宝(株)にご協力いただき、映画「ゴジラ」とのタイアップポスター・リーフレットを作成し、府内の公共施設や学校等に配布した。

さらに、公益財団法人 日本公衆電話会のご協力をいただき、訓練の概要や日頃の備え等を掲載した「うちわ」を作成し、地域の関係団体等に配布していただいた。

昨年から引き続いての取組みとしては、各鉄道・バス会社やラジオ各社に広報協力を呼びかけ、車内放送やポスター掲示、ラジオ番組等での告知を行っていただいたほか、スポーツ新聞やミニコミ誌等にも幅広く協力を呼びかけ、掲載等いただいた。

【主な広報活動状況】

- 三井住友海上火災保険(株)及び(株)ジェイコムウエスとのタイアップポスター合計 **8,500** 枚、
リーフレット合計 **310,000** 枚
- 東宝(株) 映画「ゴジラ」とのタイアップポスター**1,000** 枚、リーフレット **10,000** 枚
- 公益財団法人 日本公衆電話会 うちわ **4,000** 枚
- 道頓堀雪印メグミルクネオン（4月～8月）
- スーパー銭湯待合室モニター（7月、8月）

訓練事前浸透率

訓練事前浸透率（訓練開始時より前にこの訓練を知っていた者の割合）は、前回の **74.0%** から 6% 下が、**68.0%** となった。

前回同様、初回とは違い、新聞・テレビ等の報道機関に大々的に取り上げられなかったこと等が原因と考えられる。これまでの訓練結果から推定すると、訓練前日のテレビでの取り上げが事前浸透率に大きく寄与すると思われる。

訓練開始合図

今回の訓練は、過去 2 回と異なり、地震は **11 時** に発生し、大津波警報が **11 時 03 分** に発表されるという想定で、**11 時 03 分** 頃にエリアメール／緊急速報メールを発信するという、より実態に即した形で実施した。

エリアメール／緊急速報メールにより訓練情報を受け取った覚知率は、前回の **65.5%** から **67.3%** と上昇した。

これは、エリアメール／緊急速報メールの「災害・避難情報」に対する携帯電話の推計対応率が、平成 **26 年 3 月末** 時点で携帯電話比社会計 **71.2%** と、昨年の **58.9%** に比べ、上昇したことが原因と考えられる。

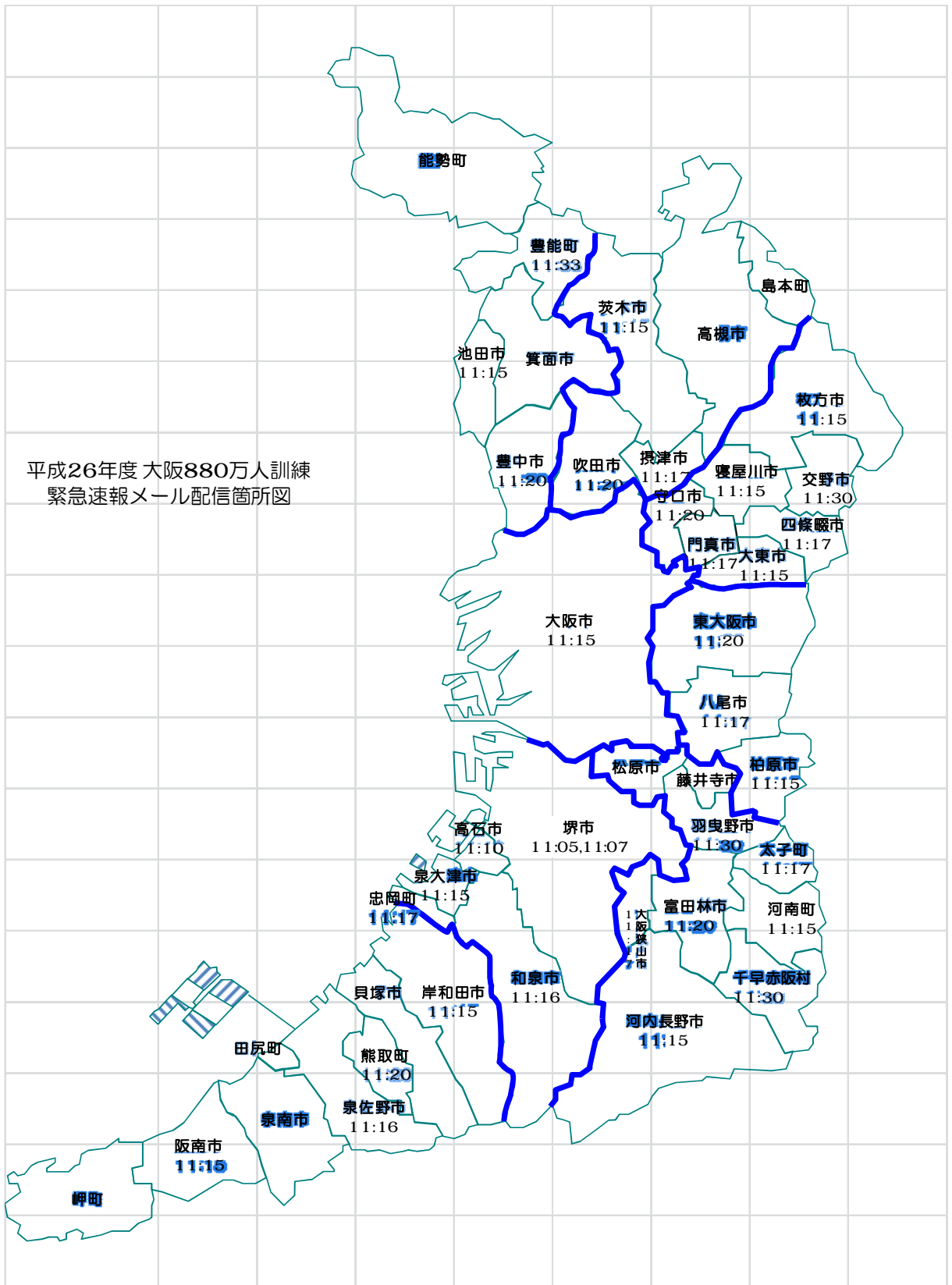
また、今回の訓練では、午前 **11 時** に、屋外スピーカーや館内放送等を使って地震関係の訓練開始合図を行ったが、その覚知率は **31.0%** であった。

さらに、今回は **33 市町村** が訓練情報メールの第 **2 弾** 発信を行ったが、特段のトラブル等なく適切に発信することができた。

なお、実際に大規模災害が発生した際には、複数の自治体から重複してエリアメール／緊急速報メールが届くことから、訓練情報メールの第 **2 弾** 発信についてもアンケート調査を行ったところ、「実際の状況を想定しての発信であれば必要である」との回答が **62.6%**、「実際の状況を想定しての発信であれば必要だと思うが、事前に十分な説明が必要である」との回答が **30.1%** であった。

今夏、大阪にも被害をもたらした台風や大雨時に、エリアメール／緊急速報メールが多数発信されていることなどから、府民のみなさんの意識が高まっているものと考えられる。

平成26年度 大阪880万人訓練
緊急速報メール配信箇所図



事前訓練

訓練当日までに、避難方法や非常持ち出し品の点検などの日常の備えについて考えておく事前訓練への参加率の推計値は**31.4%**であり、昨年度の**34.4%**と比較すると、やや減であった。

当日訓練

エリアメール／緊急速報メール等で訓練情報を受け、自分の身の安全を守ることやその後、どう行動するかなど考える当日訓練への参加率の推計値は**26.6%**であり、昨年度の**31.1%**と比較するとやや減であった。



訓練当日、高石市内の津波避難タワーへ避難する松井知事

連動訓練

本訓練と連携して市町村や自治会等の他主体が実施する避難訓練、防災研修などの連動訓練への参加率の推計値は**9.4%**であり、昨年度（**9.2%**）とほぼ横ばいであった。

しかしながら、府のホームページに連動訓練の掲載を希望した団体は、昨年度の**14**団体から**48**団体に大幅に増加しており、本訓練が防災訓練として着実に広まりつつあると考えられる。

府民の反響等

昨年、一昨年に比べ、エリアメール／緊急速報メールが届かないという府民の声が大幅に減っていることや、今夏、大阪にも被害をもたらした台風や大雨時に、エリアメール／緊急速報メールが多数発信されていることなどから、府民のみなさんの意識とともに、エリアメール／緊急速報メール及び本訓練の認知度が着実に高まっているものと考えられる。

一方で、事前訓練・当日訓練・連動訓練の参加率がそれぞれ減少傾向にあるほか、訓練情報受信後、訓練に参加しなかった人が昨年度より若干増加（**54.2%**→**59.8%**）するなど、本訓練の目的の一つである、実際の「逃げる」行動に、いかにつなげていくかが、引き続き課題となっている。

各団体の取り組み状況

大阪府庁各部

部局・所属名	取組内容
政策企画部	身を守る行動・職員の安否確認訓練
(危機管理室)	庁内放送
総務部	身を守る行動
(庁舎管理課)	避難誘導・救出・搬送訓練
財務部	身を守る行動
(行政改革課)	情報伝達訓練
府民文化部	身を守る行動
福祉部	身を守る行動
健康医療部	身を守る行動
(各保健所)	庁内放送、避難訓練、情報伝達訓練 など
商工労働部	身を守る行動
環境農林水産部	身を守る行動、情報伝達訓練、情報収集訓練
都市整備部	部震災対策本部会議運営訓練・職員の安否確認訓練・情報伝達訓練・水門、鉄扉等閉鎖訓練・ボランティアとの連携訓練 など
住宅まちづくり部	身を守る行動、情報伝達訓練、職員参集訓練
会計局	緊急時の財務会計処理に係る模擬訓練(他機関等と連携)、災害時初動対応訓練
議会事務局	身を守る行動・避難誘導訓練
教育委員会	身を守る行動、情報伝達訓練
(各図書館)	啓発コーナー(事前)、館内放送
(府立学校)	避難訓練、校内放送等による啓発等
人事委員会	身を守る行動、情報伝達訓練、避難経路の確認

市町村

自治体名	取組内容
大阪市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・身を守る行動・市区局災害対策本部等設置運営訓練、庁内放送
堺市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・情報伝達訓練・庁内放送・身を守る行動・議場での連動訓練・避難所開設・避難訓練(学校園・保育所など)・津波避難訓練(小学校)・水門閉鎖訓練・市ホームページを大規模災害時に切り替え
岸和田市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員・来庁者・議会及び傍聴者)・避難所との無線交信訓練・水門閉鎖訓練
豊中市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・身を守る行動・帰宅困難者訓練・防災パネル展(市役所ロビーにて)
池田市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員・来庁者)
吹田市	緊急速報メール・帰宅困難者訓練(市民団体主催)
泉大津市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・津波避難訓練
高槻市	庁内放送・身を守る行動
貝塚市	庁内放送・身を守る行動
守口市	緊急速報メール・庁内放送
枚方市	緊急速報メール・同報系防災行政無線(事前周知)・庁内放送(事前周知)・身を守る行動・避難訓練(職員)・ツイッターアラート訓練送信
茨木市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員)・消火訓練
八尾市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員)
泉佐野市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・身を守る行動・災害対策本部訓練・消火訓練・全職員安否確認訓練・ツイッター
富田林市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送
寝屋川市	緊急速報メール・安心安全メール・庁内放送(事前周知)・身を守る行動
河内長野市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員・自治会等)・市庁舎各階からの担架搬送訓練・垂直直下救助袋使用による避難訓練・消防はしご車による救出訓練・小中学校長との防災テレビ会議、自主防災組織による避難訓練
松原市	庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員)
大東市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動
和泉市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員・庁舎にいる住民・小学校・中学校)・消火訓練・情報伝達訓練
箕面市	市民安全メール
柏原市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(自治会等)・物資輸送訓練・煙霧体験・炊き出し訓練・土砂災害に対する講演・簡易担架作製訓練・防災パネル展示・消防、警察車両の展示
羽曳野市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動
門真市	緊急速報メール・庁内放送・同報系防災行政無線(事前周知)・地域コミュニティ FM との連携放送
摂津市	緊急速報メール・安否確認訓練(職員)・情報伝達訓練(職員)
高石市	緊急速報メール・同報系防災行政無線・身を守る行動・防災講習会・泉北1区臨海コンビナート地区津波避難訓練
藤井寺市	身を守る行動・避難訓練(職員・小中学校・幼稚園)・職員参集訓練・災害対策本部訓練・安否確認訓練(職員対象)・校内放送(小学校1校)・職員マニュアル等の確認(幼稚園1園)・消火訓練(市社会福祉協議会・地域サービス公社)
東大阪市	緊急速報メール・同報系防災行政無線(戸別受信機対象)・庁内放送・身を守る行動(職員・来庁者)
泉南市	庁内放送・身を守る行動
四條畷市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・情報伝達訓練

交野市	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動(地域社会部職員対象)
大阪狭山市	緊急速報メール・身を守る行動・啓発コーナー
阪南市	緊急速報メール・身を守る行動・啓発コーナー(庁舎ロビー)
豊能町	緊急速報メール・庁内放送・避難訓練(職員・来庁者)
能勢町	情報伝達訓練(職員対象)
忠岡町	緊急速報メール・庁内放送・身を守る行動・避難訓練(職員・来庁者)
熊取町	緊急速報メール
田尻町	庁内放送・身を守る行動
岬町	庁内放送・身を守る行動及び避難訓練(職員・来庁者・議会議員)
太子町	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・身を守る行動
河南町	緊急速報メール・同報系防災行政無線・庁内放送・身を守る行動・職員避難訓練(職員・来庁者・自治会等)・DIG 訓練(自治会主催)
千早赤阪村	緊急速報メール・同報系防災行政無線・避難訓練(村立幼稚園・小学校・中学校)

各種団体

団体名	場所	取組内容
株辰巳商會	堺ケミカルターミナル	津波避難訓練
日新製鋼(株)	堺製造所	津波避難訓練(新設スピーカーの放送テストも同時実施)
三井化学(株)	大阪工場	津波避難訓練
たけしる幼稚園	堺市南区	園内アナウンス、安全措置行動、避難行動、地震体験車による体験、安全体験プログラム
大阪モノレール(大阪高速鉄道(株))	豊中市	緊急事態対策要綱に基づいた情報伝達訓練、全社員への安否確認メールの送付と返信の把握(家族を含めた安否確認の訓練)、指定した社員の自宅からの非常参集訓練(公共交通機関を使わずに、徒歩また自転車で出勤)、公共交通途絶時の社員の非常参集経路及び所要時間の確認
大阪府高圧ガス安全協会	大阪市中央区	会員法人に対する一斉メールによる事前周知
日本産業・医療ガス協会	大阪市中央区	会員法人に対する一斉メールによる事前周知
近畿冷凍空調工業会	大阪市中央区	会員法人に対する一斉メールによる事前周知
大阪鉄工金属団地協同組合	岸和田市	地震退避訓練
大阪市立大学	大阪市住吉区	全学緊急告知放送を行い、身を守る行動及び本部隊と各地区隊の緊急通信訓練の実施、安否確認システムによる安否確認の実施
ジェイコムウエスト	大阪市中央区	ポスター・リーフレットの制作及び配架等、訓練事前告知(「おちゃのこ SaiSai」「Hometown ウィークリー」「関西 TODAY」)、訓練当日告知(L字放送)、訓練後放送(「関西 TODAY」)
三井住友海上火災(株)	大阪市中央区	ポスター・リーフレットの制作及び配架及び該当配布災害時連絡システムの登録演習
かんさい生活情報ネットワーク	大阪市北区	大津波訓練を想定した情報発信・共有訓練を実施
東大阪市立孔舎衛小学校	東大阪市	身を守る行動、避難行動
御池台保育園	堺市南区	避難行動
Team7043	府域全域	アマチュア無線による非常通信訓練、WEBによるロールコール
佐野台保育所	泉佐野市	身を守る行動、避難行動
わかば保育所	泉佐野市	身を守る行動、避難行動
泉佐野保育所	泉佐野市	身を守る行動、避難行動
長南保育所	泉佐野市	身を守る行動、避難行動
みどり保育所	泉佐野市	身を守る行動、避難行動
木馬園	泉佐野市	身を守る行動、避難行動
地域子育て支援センター	泉佐野市	身を守る行動、避難行動
第一保育所	松原市	身を守る行動、避難行動
第二保育所	松原市	身を守る行動、避難行動
第四保育所	松原市	身を守る行動、避難行動
第七保育所	松原市	身を守る行動、避難行動
子育て支援センター のびのび	松原市	身を守る行動、避難行動
子育て支援センター わくわく	松原市	身を守る行動、避難行動
社会福祉協議会 地域サービス公社	藤井寺市	消防訓練(避難誘導訓練、消火訓練等)
各幼稚園(全7園)	藤井寺市	身を守る行動、避難訓練
河内幼稚園	河南町	身を守る行動、避難訓練
かなん幼稚園	河南町	身を守る行動、避難訓練

中央保育所	河南町	身を守る行動、避難訓練
石川保育園	河南町	身を守る行動、避難訓練
大宝地区自主防災ネットワーク	河南町	DIG 訓練
大阪府障害者福祉事業団	富田林市	利用者への注意喚起、身を守る行動、その他の訓練を各事業所において実施
牧リハビリテーション病院 リハビリテーション部	門真市	患者への注意喚起、身を守る行動
常翔学園中学校・高等学校	大阪市旭区	身を守る行動

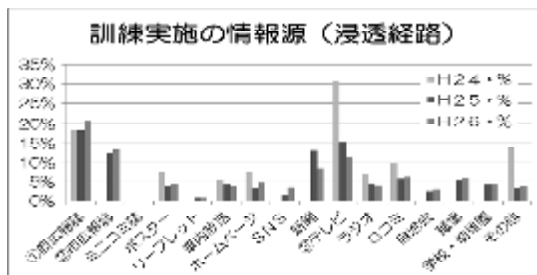
大阪府・大阪市合同「大阪880万人訓練」に関するアンケート 概要

- 実施期間 平成26年9月5日（金）から平成26年9月11日（木）
- 回答者数 2,388名/3,083名 回答率：77.5%（前回：73.0%）

1. 訓練事前浸透率（訓練開始時より前にこの訓練を知っていた者の割合）

→68.0%（前回：74.0%）

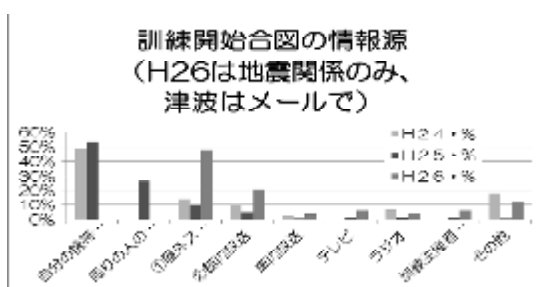
浸透経路では、「①広報誌（府政だより）」
「②広報誌（市町村広報）」「③テレビ」
の割合が高かった。



2. 訓練開始合図覚知率（津波関係：メール）

→67.3%（前回：65.5%）

「地震関係」の訓練開始合図については、
「①屋外スピーカー」「②館内放送」の順に割合が
高かった。

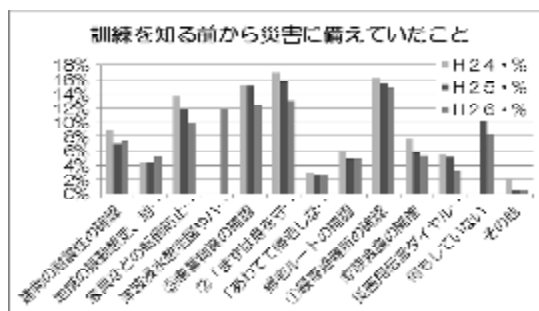


3. アンケート回答者の訓練参加率

(1)訓練当日までに、どのように避難するかや、
非常持ち出し品等の日常の備えについて考えておく
事前訓練参加率

→31.4%（前回：34.4%）

① 最寄りの避難所の確認や②「まずは身を守る」
の確認③備蓄物資の確認等の割合が高かった。

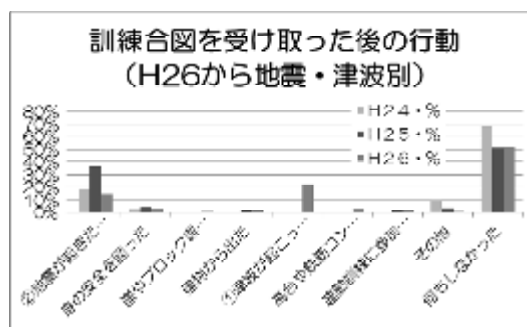


(2)メール等で訓練情報を受け、自分の身の安全を守ることや、その後どう行動するかなど考える

当日訓練参加率

→26.6%（前回：31.1%）

「地震・津波が起こった時のことを考えてみた」割合が
最も高かったが、訓練情報受信後、何もしなかった
人の割合が昨年度より若干増加（54.2%→
59.8%）するなど、本訓練の目的の一つである、
実際の「逃げる」行動に、いかにつなげていけるかが
引き続きの課題となっている。



(3)本訓練と連携して市町村や自治会等の他主体が実施する避難訓練等

連動訓練参加率→9.4%（前回：9.2%）

「大阪880万人訓練」に関するアンケート 単純集計（大阪府全体）

実施期間：平成 26 年 9 月 5 日（金）～平成 26 年 9 月 11 日（木）（7 日間）

回答者総数 2,388 名／3,083 名（回答率：77.5%）

＜アンケートの単純集計データの見方＞

この大阪府・大阪市合同調査に参加された「おおさかQネット」、「大阪市政モニター」の回答者は、無作為に抽出した府民・市民ではなく、大阪府・大阪市が公募したアンケートモニターとして任意に応募いただいたインターネットユーザーの方々です。そのため、アンケートの回答者構成は、無作為抽出サンプルのように「府民全体・市民全体の縮図」にはなっていません。したがって、アンケートの単純集計データは、無作為抽出による世論調査のように、「調査時点での府民・市民全体の状況」を示すものではないことにご留意ください。

Q1-1 あなたは、大阪市の市政モニターに登録されていますか。 【必須】	回答者数	2,388	
	はい	556	23.3%
	いいえ	1,832	76.7%
Q1-2 Q1で「はい」と回答した方に伺います。大阪市のモニターになっていただいている方につきましては、ご回答負担の軽減や回答結果の重複を防ぐため、大阪市のアンケートに回答済み、あるいは、回答予定であれば、Q2以降の質問には回答しないでください（この質問への回答をもってアンケートを終了された場合でも、謝礼等との関係ではご回答済みとさせていただきます）。 あなたは、大阪市のアンケートに回答されましたか、あるいは回答される予定ですか。【必須】	回答者数	556	-
	大阪市のアンケートに回答した	188	33.8%
	大阪市のアンケートに回答する予定である	132	23.7%
	大阪市のアンケートには回答せず、大阪府のアンケートにだけ回答する	236	42.4%
Q2 あなたは、9月5日午前11時より前に、9月5日午前11時にこの訓練があることを知っていましたか。 【必須】	回答者数	2,068	-
	知っていた	1,407	68.0%
	知らなかった	661	32.0%
Q2-2 Q2で「知っていた」と回答した方に伺います。この訓練があることをどのような媒体・経路で知りましたか。（複数回答あり）【必須】	回答者数	1,407	-
	広報誌（府政だより）	525	37.3%
	広報誌（市町村広報）	336	23.9%
	ミニコミ誌	2	0.1%
	ポスター	113	8.0%
	リーフレット	21	1.5%
	車内放送（公共交通機関）	103	7.3%
	ホームページ	123	8.7%
	SNS（ツイッター、フェイスブック、ライン等）	92	6.5%
	新聞	218	15.5%
	テレビ	291	20.7%
	ラジオ	106	7.5%
	口コミ（家族、友人・知人等）	159	11.3%
	自治会からの連絡・周知	80	5.7%
職場からの連絡・周知	156	11.1%	
学校・幼稚園等からの連絡・周知	116	8.2%	
その他	101	7.2%	
Q2-3 あなたは、9月5日午前11時にこの訓練があることを知って以降、訓練開始までに、地震や津波が発生したときにどのような行動をするか考えておきましたか。【必須】	回答者数	1,407	-
	はい	669	47.5%
	いいえ	738	52.5%

Q3 この訓練を知る前から、災害に備えていたことはありますか。Q2でこの訓練を「知らなかった」と回答された方は、9月5日午前11時より前から備えていたことをご回答ください。(複数回答あり)【必須】	回答者数	2,068	-
	建物の耐震性の確認	400	19.3%
	地域の振動想定、地盤の状況	280	13.5%
	家具やロッカーなどの転倒防止措置の確認	536	25.9%
	津波浸水想定図やハザードマップの確認	648	31.3%
	備蓄物資の確認	673	32.5%
	「まずは身を守る」の確認	705	34.1%
	「あわてて帰宅しない」ための確認	148	7.2%
	帰宅ルートの確認	263	12.7%
	最寄り避難所の確認	802	38.8%
	家族会議の開催	288	13.9%
	災害用伝言ダイヤルの使用方法の確認	175	8.5%
	何もしなかった／していない	440	21.3%
	その他	22	1.1%
Q4 今年度の「大阪880万人訓練」は、午前11時に、館内放送、屋外スピーカー、電車等の車内放送、テレビ・ラジオ、自治会や職場・学校等の訓練開始アナウンスなどマイクやサイレン等で直接呼びかける方法で「地震発生」の訓練開始合図を行い、その約3分後の午前11時03分頃に、緊急速報メール等で携帯電話に「大津波警報」が発表されたとの訓練情報を大阪府全域に配信する2段階の訓練情報の発信を行いました。あなたは、上記訓練情報発信のうち、午前11時のマイクやサイレン等で直接呼びかける方法による訓練開始の合図を受け取ることができましたか。【必須】	回答者数	2,068	-
	できた	641	31.0%
	できなかった	1,427	69.0%
Q4-2 Q4で「できた」と回答した方に伺います。マイクやサイレン等で直接呼びかける方法で行った訓練開始の合図は次のどのような経路・媒体で受け取ることができましたか。(複数回答あり)【必須】	回答者数	641	-
	館内放送(公共施設、職場・学校、ショッピングセンター、映画館等)	145	22.6%
	屋外スピーカー	338	52.7%
	車内放送(公共交通機関)	25	3.9%
	テレビ	42	6.6%
	ラジオ	29	4.5%
	訓練主催者からの呼びかけ	41	6.4%
	その他	84	13.1%
	回答者数	641	-
Q4-3 Q4で「できた」と回答した方に伺います。訓練開始の合図を受け取った後、あなたは、「大阪880万人訓練」に参加しましたか。ここで「参加」とは、市町村や自治会、職場・学校等主催の避難訓練等に参加することや、個人的に「テーブルの下に身を隠すなど身の安全を図る」などの行動をすることだけでなく、ひとりで頭の中で「地震が起こった時のことを考えてみる」など、地震が起こった場合の状況や対応をイメージするだけでも「参加」としてごください。【必須】	回答者数	641	-
	参加した	288	44.9%
参加していない	353	55.1%	

<p>Q4-4 Q4-3で「参加した」と回答した方に伺います。訓練開始の合図を受け取った後、あなたはどのような事をしましたか。なお、市町村や自治会等主催の訓練に参加中だった方は「市町村や自治会、職場・学校等主催の訓練に参加していた」を必ず選択し、それ以外にあてはまる選択肢がある場合は、その選択肢も選択してください。(複数回答あり) 【必須】</p>	回答者数	288	-
	地震が起こった時のことを考えてみた	239	83.0%
	テーブルの下に身を隠すなど身の安全を図った	51	17.7%
	崖やブロック塀から離れた	12	4.2%
	建物から出た	22	7.6%
	市町村や自治会、職場・学校等主催の訓練に参加していた	30	10.4%
	その他	11	3.8%
<p>Q5 訓練当日、11時03分頃、緊急速報メール等で携帯電話に「大津波警報」が発表されたとの訓練情報を大阪府全域に配信しましたが、あなたは、この訓練情報を受け取ることができましたか。自分の携帯電話が鳴らなくても、周りの人の携帯電話が鳴ることにより訓練開始に気付いたなど何らかの媒体・経路で合図を受け取った場合は「できた」を選択してください。【必須】</p>	回答者数	2,068	-
	できた	1,391	67.3%
できなかった	677	32.7%	
<p>Q5-2 今回の訓練では、大阪府全域向けの緊急速報メールに続き、大阪市など府内33の市町村で、各市町村域向けに緊急速報メールの発信を行いました(注)。実際に大規模災害が発生した際には、複数の自治体から重複して緊急速報メールが届くことがあり、今回はこのような状況を想定して、訓練を行いました。そこでおうかがいしますが、訓練の際、複数の自治体から緊急速報メールを発信することについて、あなたの考えに最も近いものを次のうちからひとつお選びください。【必須】 (注)緊急速報メールを発信した市町村・発信時間などは、こちらのウェブサイト下方の「緊急速報メール発信予定団体一覧」をご参照ください。 http://www.pref.osaka.lg.jp/shobobosai/trainig_top/h26celluler880.html</p>	回答者数	1,391	-
	実際の状況を想定しての発信であれば必要である	871	62.6%
	実際の状況を想定しての発信であれば必要だと思うが、事前に十分な説明が必要である	418	30.1%
	実際の発災時と訓練は別であり、訓練で複数の緊急速報メールが届くことは迷惑なので、訓練では複数の自治体からの緊急速報メールの発信はやめるべきである／やめた方がよい	62	4.5%
	複数の緊急速報メールを発信しても発信しなくても、どちらでもよい	28	2.0%
	その他	12	0.9%
<p>Q5-3 Q5で「できた」と回答した方に伺います。訓練開始の合図を受け取った後、あなたは、「大阪880万人訓練」に参加しましたか。ここで「参加」とは、市町村や自治会、職場・学校等主催の避難訓練等に参加することや、個人的に「高台や鉄筋コンクリート3階以上の高いところなどに避難を行う」などの行動をすることだけでなく、ひとりで頭の中で「津波が起こった時のことを考えてみる」など、津波が起こった場合の状況や対応をイメージするだけでも「参加」としてください。また、津波だけでなく、地震に対する行動を起こした場合や状況・対応をイメージした場合も「参加」に含めて回答してください。【必須】</p>	回答者数	1,391	-
	参加した	559	40.2%
参加していない	832	59.8%	

<p>Q5-4 Q5-3で「参加した」と回答した方に伺います。訓練開始の合図を受け取った後、あなたはどのような事をしましたか。なお、市町村や自治会等主催の訓練に参加中だった方は「市町村や自治会、職場・学校等主催の訓練に参加していた」を必ず選択し、それ以外にあてはまる選択肢がある場合は、その選択肢も選択してください。(複数回答あり) 【必須】</p>	回答者数	559	-
	津波が起こった時のことを考えてみた	357	63.9%
	高台や鉄筋コンクリート3階以上の高いところなどへの避難を行った	53	9.5%
	地震が起こった時のことを考えてみた	354	63.3%
	地震に対する行動を起こした	45	8.1%
	市町村や自治会、職場・学校等主催の訓練に参加していた	41	7.3%
	その他	25	4.5%
	<p>Q6 この訓練をきっかけにして確認したことをお聞かせください。(複数回答あり)【必須】 (注)この訓練があることを知らなかったため、この訓練をきっかけにしては何もしなかった(できなかった)方は、「何も確認しなかった/できなかった」をお選びください。</p>	回答者数	2,068
建物の耐震性の確認		175	8.5%
地域の振動想定、地盤の状況		126	6.1%
家具やロッカーなどの転倒防止措置の確認		233	11.3%
津波浸水想定図やハザードマップの確認		260	12.6%
備蓄物資の確認		332	16.1%
「まずは身を守る」の確認		541	26.2%
「あわてて帰宅しない」ための確認		116	5.6%
帰宅ルートの確認		177	8.6%
最寄り避難所の確認		383	18.5%
家族会議の開催		196	9.5%
災害用伝言ダイヤルの使用方法の確認		112	5.4%
何も確認しなかった/できなかった		952	46.0%
その他		50	2.4%
<p>Q7 この訓練の当日あるいはその前後に市町村、自治会、職場・学校などが主催する避難訓練などに参加しましたか。【必須】</p>	回答者数	2,068	-
	参加した	178	8.6%
	参加していない	1,890	91.4%
<p>Q7-2 Q7で「参加した」と回答した方に伺います。参加された方はその種類についてお答えください。 【必須】</p>	回答者数	178	-
	避難訓練	121	68.0%
	防災研修	52	29.2%
	情報伝達訓練	25	14.0%
	消火訓練	35	19.7%
	その他	14	7.9%
<p>Q8 「大阪880万人訓練」について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。</p>	回答者数	1,022	-

大阪 880 万人訓練実行委員会

委員長：大阪府知事

副委員長：大阪市長・堺市長

委員：大阪府教育長・大阪府市長会長・大阪府町村長会長・西日本旅客鉄道株式会社
取締役兼専務執行役員 近畿統括本部長・西日本電信電話株式会社 大阪支店 設備部
長・日本放送協会 大阪放送局長・KDDI株式会社 関西総支社長・関西鉄道協
会 技術委員会委員長・関西テレビ放送株式会社 常務取締役・大阪放送株式会社 取
締役編成局長・株式会社NTTドコモ 常務執行役員 関西支社長・ソフトバンクモバイル
株式会社 総務本部 地域総務部長

大阪府事務局：大阪府 危機管理室 災害対策課 災害対策グループ

大阪市事務局：大阪市 危機管理室

堺市事務局：堺市 危機管理室